

むかしの^{どうぐ}道具

にしあいづまち^にには、むかし^{つか}使ったいろいろな生活の道具が^{のこ}残っています。

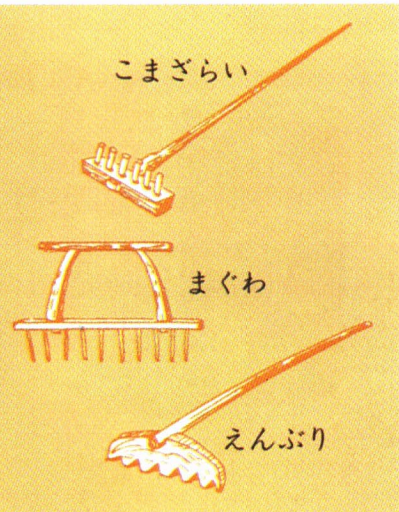
この道具をみると、むかしの人は、工夫^{くふう}して道具をつくったことがわかります。また、むかしの町の人たちはどんなくらしをしてきたかがわかります。

のうぎょう 農業に使った道具

田をたがやすときに使った道具



▲代かき



<まぐわ>は、馬につけて田の土を細かくしたり、代かき^{しろ}に使いました。はなどりといって、子どもが馬の口に竹ざおをつけて馬を歩かせました。

<こまざらい>は、田がぬかって馬が入れないひどろ田やせまい田の代かきに使いました。

<えんぶり>は、まぐわやこまざらいで代かきをしたあと、田^{たう}植えがしやすいように田の^{ひょうめん}表面を^{たい}平らにするために使いました。

むかしは、田^き植えやいね^{かい}かりは機械を使わず、馬や牛を使ったり道具^{しごと}だけで^{ろうどう}仕事をしたので、^{なんばい}労働時間は今よりも何倍も多くかかりました。子どもも学校から帰ると、田^{はたけ}や畑の仕事^{てつだ}を手伝いました。